

## 第38回

# 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 全国(広島)大会及び研修会

### 大会テーマ

地域社会とともに歩むアーカイブズ  
— 今、なすべきこと —

期 日 平成24年11月8日(木)・9日(金)

会 場 広島県民文化センター・鯉城会館  
広島県立文書館 広島市公文書館

主 催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会  
共 催 広島県  
広島市  
広島県市町公文書等保存活用連絡協議会  
後 援 独立行政法人国立公文書館  
中国新聞社  
NHK広島放送局

# 開催要項

- 1 期 日 平成24年11月8日(木)・9日(金)
- 2 主 催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
- 3 共 催 広島県, 広島市, 広島県市町公文書等保存活用連絡協議会
- 4 後 援 独立行政法人国立公文書館, 中国新聞社, NHK広島放送局
- 5 会 場 広島県民文化センター・鯉城会館  
〒730-0051 広島市中区大手町1-5-3 Tel:082-245-2311(セ)・082-245-2322(鯉)  
広島県立文書館  
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ内 Tel:082-245-8444  
広島市公文書館  
〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル6~8F Tel:082-243-2583
- 6 内 容 (1) 総会  
(2) 大会テーマ研究会, 研修会(広島県立文書館, 広島市公文書館視察を含む)  
(3) 委員会報告, 報告  
(4) 機関会員・協賛企業展示, ポスターセッション  
(5) 交流会
- 7 申込方法 「参加申込方法」(P. 8)をご覧ください, 別紙「申込書」をご利用の上, 広島大会事務局(広島県立文書館内)までお申し込みください。
- 8 その他 (1) 会員相互の親睦を図るため, 個人情報の保護に十分配慮し, その用途を本大会に限定した上で, 参加者名簿(氏名・所属[機関名又は都道府県名])を作成します。別紙「申込書」の氏名欄の名簿掲載可・否の該当項目に○印をご記入ください。記入がない場合は否と判断させていただきます。  
(2) 手話通訳等の介護措置を希望される方は, 別紙「申込書」の通信欄にその旨をご記入ください。

## 会 場



〔県民文化センター周辺案内図〕

### ○広島県民文化センター・鯉城会館

- JR広島駅(在来線口・南口)から…バス, 路面電車約10分  
「紙屋町」「紙屋町西」下車
- 広島バスセンターから…徒歩約3分
- 広島空港から…エアポートリムジンバス約60分
- 広島港から…バス, 路面電車約30分
- アストラムライン本通駅から…徒歩約2分

### ○研修会視察地(地図・アクセス方法はp. 4に掲載)

#### A 広島県立文書館(広島県情報プラザ内)

- 〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 Tel:082-245-8444
- \*研修会Aは, 申込先着順84名様までとします。

#### B 広島市公文書館(大手町平和ビル6~8F)

- 〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 Tel:082-243-2583
- \*研修会Bは, 申込先着順60名様までとします。

# 大 会 日 程

時 刻	11月8日(木)		11月9日(金)	
9:00	各館集合 9:00～ 9:30		受 付(ホール入口) 9:00～ 9:20	
9:30	[研修会A]※ 視 察 広島県立文書館 9:30～11:00 * 申込先着順84名様	[研修会B]※ 視 察 広島市公文書館 9:30～11:00 * 申込先着順60名様	[報告] 仙台市博物館の資料レスキュー活動 (ホール) 9:20～10:00 [委員会報告] 東日本大震災臨時委員会 (ホール) 10:00～10:50	
11:00	移 動 受 付(ホール入口) 11:00～ 昼食・休憩・ポスターセッション 11:00～13:00		[委員会報告] 調査・研究委員会 (ホール) 11:00～11:50  昼食・休憩・ポスターセッション 11:50～13:00	
13:00	[研修会C] (ホール) 13:00～14:10	[研修会D] (5F・会議室サファイア) 13:00～14:10	[大会テーマ研究会] (ホール) 趣旨説明 13:00～13:10	
14:10			全 体 会	
14:20	[研修会E] (ホール) 14:20～15:30	[研修会F] (5F・会議室サファイア) 14:20～15:30	・報告 ① 13:10～13:55 ・報告 ② 13:55～14:40 ・コメント 14:50～15:10 ・質疑討論 15:10～15:50	
15:30				
15:40	総 会 15:40～17:30 (ホール)		閉会行事 15:50～16:00	
17:30			※ 施設の関係上、人数制限を設けますので ご了承下さい。なお、広島県立文書館は、 お申し込みをお断りした方を対象に、11月 10日(土)9:30から対応をさせていただきます。	
18:00	交 流 会 18:00～20:00 (鯉城会館5F・会議室サファイア)			
20:00				

## 11月8日(木)のプログラム

### ■研修会 視察(A・B 9:30~11:00)

#### A 広島県立文書館(広島県情報プラザ内)

広島県立文書館は、昭和63年(1988)に開館し、今年で24年目を迎えました。当館に限らず、今日ではインターネットによって館の概要や収蔵資料などについては、かなり情報を得られるようになってきました。しかし、それぞれの館の業務の「勘所」や仕事の細かい流れなどは、通常では知ることはできません。

今回、大会研修会の1コマをいただき、当館の視察を行うことになりました。当館の、普段は、必ずしも公にしていない、施設・業務の現状や裏側を実見していただくことが、何かの参考になれば幸いです。

- \* 研修会Aは、申込先着順84名様までとします。
- お断りすることになりました申込者に対しましては、11月10日(土)の9:30から対応をさせていただきます。

#### 【アクセス】

JR広島駅(在来線口・南口)から  
バス約20分「広島県情報プラザ前」下車すぐ  
バス約15分「広電前」下車・徒歩約500m  
路面電車約30分「広電本社前」下車・徒歩約500m  
広島港から  
バス約10分「広島県情報プラザ前」下車すぐ  
バス約15分「広電前」下車・徒歩約500m  
路面電車約25分「広電本社前」下車・徒歩約500m



【視察会場案内図】

#### B 広島市公文書館(大手町平和ビル6~8F)

広島市公文書館は、合併市町村の公文書の散逸を防ぎ、また、町史、市史の編さんの過程で収集した資料類の体系的な保存・活用を図り、市民文化の発展に寄与することを目的として、昭和52年4月に設立されました。平成16年7月現在地に新館を開館、現在は情報公開・個人情報保護制度の運用、現用文書の保存等の業務も行っています。

当館の視察では、当館の概要、被爆から平和都市への変貌を記録した復興関係資料など特徴的なコレクションの紹介と、資料室(書庫)等の見学を予定しています。

- \* 研修会Bは、申込先着順60名様までとします。

#### 【アクセス】

JR広島駅(在来線口・南口)から バス約15分、路面電車約20分 いずれも  
広島港から バス約15分、路面電車約30分 「市役所前」下車すぐ

## C 「アーカイブズの実践入門」

定兼 学 氏 (岡山県立記録資料館 館長)

この研修会では、委員会の要請により主に古文書(民間資料)に関することを話します。はじめて資料群を目のあたりにしたときは、誰しもとまどうものです。整理する者の立場や整理する資料の状況は異なっても、文書館学的記録史料整理論、IPM(総合的有害生物管理)、個人情報保護法、公文書館法、MLA連携、または草の根アーカイブズ論などを踏まえながら、その時点で最善の手立てを施して「地域社会とともに歩むアーカイブズ」としたいものです。この研修会では、わたくしのささやかな経験と考えを一例としてお伝えすることで、アーカイブズの実践入門といたします。

## D 「アーカイブズの電子情報化とその課題」

研谷 紀夫 氏 (関西大学総合情報学部 准教授)

日本においては、1990年代後半から各種文書資料など電子情報化が進行してきた経緯がある。しかし、標準的技術の採用、データの長期保存、メタデータの連携、セキュリティ対策、予算・人員の確保などの観点から、アーカイブズの情報システムをどのように長期的に運営していくかについては、様々な課題である。本研修会では、アーカイブズの情報システムの現状を概観した上で、システムやデータ管理の課題などについてまとめる。

## E 「大学アーカイブズの社会連携活動」

小宮山 道夫 氏 (広島大学文書館 准教授)

本研修会では、広島大学文書館の行っている各種の社会連携活動を事例に、大学アーカイブズ特有の社会連携のあり方について情報提供を行うとともに、アーカイブズの社会連携活動の意義と課題について考えます。具体的には市民向けの公開講座、高大連携事業の自校史教育、学外への研修プログラムの提供、学外との協同事業、広島県立文書館と締結した被災時の相互協力協定などの事例を紹介いたします。

## F 「学校教育との連携に関する取り組み —山口県文書館の事例—」

山本 明史 氏 (山口県文書館 専門研究員)

山口県文書館では、これまで、学校教育への支援として、教員を対象にした古文書講座の開催、授業の一環としての児童・生徒の訪問受け入れ、教材研究に関するレファレンスなどを行ってきた。これらに加え平成22年度からは、学校現場からの声を受け、授業に役立つ館蔵資料をピックアップし解説した資料集「山口県文書館所蔵アーカイブズガイド—学校教育編—」の編集に取り組んでいる。今回は、本資料集を通して、学校教育との連携に関する当館の取り組みを紹介し、今後の課題について考えてみたい。

## ■機関会員出版物等展示・協賛企業展示・ポスター展示(地階 第1展示室)

各機関の刊行物やパンフレット、協賛企業の取扱品・図書・出版物等を展示します。また、各機関(館)の事業の紹介や、個人の研究をまとめたポスターも掲示します。

好評のポスターセッションは、コアタイムを8日(木)11:00~13:00、9日(金)11:50~13:00に設定しました。この時間帯にはポスターの展示者が、発表形式で説明を行うとともに、自由な意見交換ができます。

情報収集や交流の場として、多くの皆様に会場に足を運んでいただきたいと思います。

## 11月9日(金)のプログラム

### ■大会テーマ

地域社会とともに歩むアーカイブズ — 今、なすべきこと —

### ■報告・委員会報告(9:20~11:50)

#### 「東日本大震災における仙台市博物館の資料レスキュー活動」

(9:20~10:00)

栗原 伸一郎 氏 (仙台市博物館 市史編さん室)

東日本大震災を受けて、仙台市博物館では他の組織とも連携しながら、個人所蔵資料・公的施設所蔵資料を問わずレスキュー活動を行った。震災直後は、仙台市内を巡回しながら旧家などを個別に訪問し、資料の被災状況を調査する活動などを実施し、現在では活動の成果を市民に還元するよう努めている。報告では、これまでの活動内容やそこでの問題点を紹介し、非常時における資料保全活動のあり方を考えたい。

#### 「東日本大震災における全史料協の活動の課題と新たな方針に関する提言(仮題)」

(10:00~10:50)

長谷川 伸 氏 (新潟市歴史文化課 歴史資料整備室・東日本大震災臨時委員会 委員)

全史料協東日本大震災臨時委員会では、今後の震災対応・復旧活動に役立てるため、地域資料・公文書を問わない形で、東日本大震災被災資料状況調査及び一覧リストの作成に取り組んでいるが、その過程で、全史料協としての活動について、様々な課題が浮き彫りになった。

今回の報告では、これまでの災害対応と現在の課題の整理・検討を踏まえて、全史料協が全国協議会としてどのような役割を果たしていくべきか、今後の指針を提言する。

#### 「調査・研究委員会報告」(11:00~11:50)

平成22年度に発足した調査・研究委員会のこれまでの活動を振り返り、これからどこへ向かうべきなのかを議論します。現委員は(委員長を除き)すべて登壇。時間の制約により、フロアとのディスカッションを設定しないかわりに事前の質問やコメントを募集します。

#### ◇質問・コメントは封書、ファックス、メールで以下の宛先へ◇

全史料協調査・研究委員会事務局(富永)

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川148-3 沖縄県公文書館内

FAX:098-888-3879(ファックスには「富永宛」と表記願います)

メール:tominaga.kazuya☆gmail.com ☆を@に換えてください。

ご参考までに、これまでの主な活動を下記に挙げます。

#### 1. 普及活動

公文書管理法制定に伴うセミナー(H22.2) 資料保存セミナー(H23.2 企業史料協と共催)

公文書館機能普及セミナー(H22.2 高知県 H23.7 沖縄県 H24.8 佐賀県)

アメリカアーキビスト協会資料保存マニュアル無償提供(H23.12~ 東日本大震災による被災資料救済目的) 専門職問題セミナー(H24.2)

#### 2. 調査・研究

資料保存のための既存施設の転用調査 (H22. 12～H23. 1) 歴史的に重要な公文書等の保存についての全国自治体調査 (H21. 9～10) 公文書館機能の実態調査 (H23. 9～10 埼玉県・沖縄県の市町村対象 H24. 7～8 佐賀県内の市町村対象) 公文書館機能の自己点検・評価指標案の検討作成・パブコメ募集・最終案報告 (H21～H23) 東日本大震災時の機関会員の安否確認調査とHPでの公表 (H23. 3. 12第一報～H23. 4. 14第九報) 全史料協大会での研究報告 (H22. 11 京都大会 H23. 11群馬大会)

3. 会員意見のフィードバック・会員とのコミュニケーション  
会員との交流会 (H23. 10) 対話集会 (H24. 2) アンケート・ブログ運営 (H24. 2～)

## ■大会趣旨説明(13:00～13:10)

大会テーマ研究会では、公文書管理法の趣旨に沿って地方公共団体に求められた必要な施策を、条例として実現した広島県安芸高田市と熊本県に事例報告をお願いしました。コメントでは両事例の意義について論点をまとめ、その後フロア全体での質疑討論に移ります。

アーカイブズが地域社会に根付き、ともに歩むために、私たちが「今、なすべきこと」について議論を深める大会にすることを目標にしたいと考えます。

## ■全体会(13:10～15:50)

### 報告①「安芸高田市の文書管理改善活動と公文書管理条例」

(13:10～13:55)

高下 正晴 氏 (安芸高田市 行政経営課)

平成の大合併で新設された安芸高田市で、合併以来行ってきた文書管理改善活動が、公文書管理法の考え方を取り入れて深化し、平成23年12月に公文書管理条例を制定するに至る過程を紹介します。新設合併団体ならではの文書管理にまつわる問題点をいかに解決していったか、公文書管理法に規定する公文書館の設置、特定歴史公文書の公文書館への移管など、小規模団体にとって困難な課題について、どのような方法で実現したかなど、文書管理の実務を行う担当者の立場でお話しします。

### 報告②「熊本県行政文書等の管理に関する条例について」(13:55～14:40)

村上 徹 氏 (熊本県 総務部文書私学局 県政情報文書課)

熊本県では、平成21年7月の「公文書等の管理に関する法律」の制定、「行政文書の適切な管理は民主主義の基本」とする知事の政治姿勢、第三者機関である「熊本県行政文書等の管理のあり方検討委員会」の提言を受け、平成23年3月に「熊本県行政文書等の管理に関する条例」を制定しました。条例制定後、平成23年度は、「行政文書等管理委員会」(条例に基づく第三者機関)の意見を聴きながら、条例を踏まえた行政文書管理制度について詳細に定め、平成24年4月から新たな制度を施行させています。その概要を報告させていただきます。

### コメント(14:50～15:10)

安藤 福平 氏 (広島県立文書館)

報告①と報告②の二つの事例について論点をまとめます。

### 質疑討論(15:10～15:50)

司会 小高 哲茂 氏 (群馬県立文書館・大会・研修委員会 委員)  
森本 祥子 氏 (江東区区政資料室・大会・研修委員会 委員)

## ■閉会行事(15:50～16:00)

# 参加申込方法

## 1 大会参加について

### (1) 参加区分と各参加費

参加区分	大会参加費	交流会参加費	
会 員	1,500円	6,000円	機関会員・個人会員とも
非会員	2,000円		
非会員 (広島県内在住・在勤)	1,500円		

(2) 研修会（視察を含む）については、ご希望のコースをそれぞれお選びいただき、委員会報告・大会テーマ研究会は出席予定の場合、「申込書」の該当箇所に○を付けてください。  
 \*研修会A（広島県立文書館視察）は申込先着順84名様まで、B（広島市公文書館視察）は申込先着順60名様までとします。参加受入の可・否は、請求書・振込票等の返送の際にご案内いたします。なお、研修会Aをお断りすることになりました申込者様に対しましては、11月10日(土)の9:30から同館にて対応をさせていただきます。

(3) 交流会への参加・不参加、昼食（弁当）のお申し込みは、別紙「申込書」の該当箇所に○を付けてください。

## 2 お申し込み先・お問い合わせ先について

別紙「申込書」に必要事項をご記入の上、ファックス又は郵送にてお申し込みください。

### (1) お申し込み先・お問い合わせ先

【全史料協広島大会事務局 受付係】

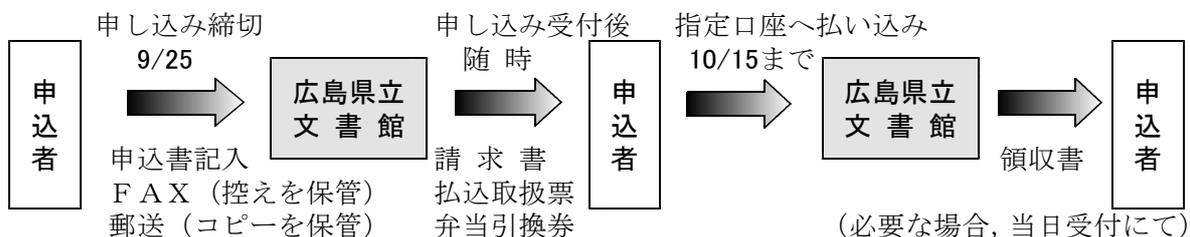
広島県立文書館 〒730-0052 広島県広島市中区千田町3-7-47 担当：西向・西村

TEL:082-245-8444 / FAX:082-245-4541

E-mail: monjokan☆pref.hiroshima.lg.jp

☆を@に換えて下さい。

### (2) お申し込みから予約確認までの流れ



## 3 申し込み締切 平成24年9月25日(火) 必着

## 4 その他

(1) 本年度は、宿泊ホテルについての斡旋は行いません。

(2) 大会受付は、広島県民文化センター・鯉城会館で行います。なお、視察地では受付業務を行いませんのでご了承ください。